

四島の記憶をたどって

第 37 回北方領土返還要求運動神奈川県民大会



主催者挨拶

北方領土返還要求運動神奈川県民会議

会長 加藤元哉 氏



北方領土は戦後 78 年を迎えた。今もなおロシアによる不法占拠が続いており、返還の目途が立っていない。日ロ関係はロシアによるプラインナ侵略によって平和条約交渉の展望の見通しが立たない、大変厳しい状況にあります。日本政府は、領土問題を解決し平和条約を締結するとの方針を堅持するとともに、北方四島交流事業の再開を今後の日ロ関係の中でも最優先事項の一つとし、引き続きロシア側に対して事業の再開を強く求めていくとしております。北方領土問題の解決は国による外交交渉が基本となりますが、このような状況にあっても、それを支えるのは皆様の返還を求める強い意思であり、我々一人一人が北方領土問題に対して正しい認識を持ち、返還の機運を高めていくことが大切です。

来賓挨拶

神奈川県副知事

武井政二 氏



昨年ロシア政府がウクライナ情勢を踏まえた国の措置に対しまして、平和条約交渉の中断や四島交流事業の中止を一方的に発表いたしました。日米関係の今後は見通しの立たない大変厳しい状況でございます。一方、元島民の方々の平均年齢が 87 歳を超え、高齢化が進んでいる状況です。このように厳しい情勢の中ご高齢になられた。元島民の方々に寄り添い県外要求の取り組みを続けていくことが必要です。県としては、全国知事会を通じて、北方四島の早期変化のための解決の促進を政府に対して強く要請をしております。本年は今後見通すことができない状況にあっても、政府も基本方針の下、外交交渉を継続するとともに、四島交流事業の一日も早い再開に向け具体的に取り組むことを求めています。県民会議の皆様におかれましては、北方領土の問題に対する理解を広げるための広報啓発の事業に積極的に取り組んでいただいております。こうした取り組みこそ、北方領土の問題を決して忘れず、若い世代につないでいく非常に重要なものであると認識しております。北方領土問題を忘れない、そうした一人一人の声を絶やすことなく繋げ、大きな輪にして北方両の変換を実現していきたいというふうに考えております。

来賓挨拶

独立行政法人北方領土問題対策協会

理事長 山本 茂樹 氏



ロシアのウクライナ侵略に関連して、国際社会と連携して日本政府は経済制裁等の措置を取っておりますが、これに対して、ロシア政府は日本との平和条約交渉を継続しないとか、日本との交流事業の合意を破棄するというような訴求をしています。こうした状況下におきましては、今まで以上に全国の返還運動の関係者が一丸となって国交の変化を強く求めるという国民要望を結集させて粘り強く継続していくことが重要だと考えております。

また SNS を活用して若年層をはじめ新規参加者の参加も含めて要求の拡大強化を図っていきたくと考えております。一日も早い返還要求の実現に向けて、皆様方とともに手を支えて返還要求を推進してまいります。引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北方領土ゼミナール参加大学生の取り組み報告

神奈川県学生 国際日本学部 1年杉原さん・経済学部 4年遠藤さん

・北方領土について

北方領土とは日本の最北東端に位置する4つの島です。歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の4つです。もともと北方領土は日本所有の島ですが、日本が終戦をして国民も、国家も不安定なタイミングでロシア軍が四島に侵入を開始し、島民を北方四島から追い出し、不法占拠しました。

・根室で行っている活動について

北方四島の返還運動として返還を求める署名活動・北方領土啓発イベントの開催・大学教授、生徒を含めたゼミナールなどが行われています。多くの先人たちが長年続けている返還運動であり、現在もなお活動が途切れることなく行われており、後世に伝わっています。

・ロシアによるウクライナ侵攻の影響について

令和4年2月からロシアによるウクライナ戦争が開始されました。侵攻が開始されたことにより、平和条約交渉の中断、交流等の事業の一方的な停止、北方墓参が見送られるなど、過去に行われた交流が多く禁止されています。禁止された項目に北方墓参という項目がありますが、説明します。北方四島現地に住まわれていた方のお墓があります。元島民の日本の方や、現地に住まわれていたロシアの方も含めてです。ロシアの方というのは、北方四島がロシア軍に占領されてから住まわれている国民を指しています。

・北方館視察について

北方館とは、北方領土返還要求運動の発祥の地であり、領土問題の発生の状況や歴史的経緯を展示する施設となっております。貝殻塔とは、北方館から貝殻島灯台の距離が日本人の北方四島に近づいて良い距離となっております。本来日本の所有の地であるため近づいて良い

という概念自体があるのが正直おかしいことではありますが、現在はロシア軍人が付近を海上監視しているため灯台より先に越えてしまった場合は、ロシア海上監視中のロシア軍人に拘束され、最悪の場合射殺されてしまいます。過去に、貝殻島灯台付近で2006年8月北海道根室湾中部漁協所属のカニ魚船の漁師であった森田さんという方が、ロシア国境警備当局にその際に拘束され、銃撃され亡くなってしまったという悲しい事件があります。日本の領土ではありますが、ロシア軍が監視しているため現地の方々は灯台を越えての漁業など、移動というものができないという状態に現在はなっています。

北方領土元島民体験談の朗読



元島民二世 落語家
三遊亭 金八 氏



俳優 真坂 雅 氏
俳優 野良 のりオ 氏

神奈川県立湘南高等学校合唱部による合唱

大会宣言

歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島からなる北方四島は、歴史的にも国際法上も、疑う余地のない我が国固有の領土であり、一日も早い返還の実現は、全国民共通の悲願である。

しかしながら、戦後80年近くが経過した今日においてもなお、ロシアの占領のもとに置かれ、領土返還への道のりは依然として険しい状況であることは、誠に遺憾である。

北方領土問題の解決なくして、日本とロシアの間に真の友好と信頼関係を築くことはできない。

私たちは神奈川県民の総意を集結し、北方領土の一日も早い返還を実現するため、県民会議設立の趣旨のもと決意を新たに、さらにねばり強く運動を推進していくことをここに宣言する。
令和5年11月13日 第37回北方領土返還要求運動神奈川県民大会

以上の内容で第37回北方領土返還要求運動神奈川県民大会は閉会した。